

1. 概況(雑感)

新年を迎えた。学生達の「あけおめ。」の声は冬期休暇の終わりを告げ、授業の開始と同時に、また支援室は賑わいはじめた。2月の後期試験に向けて学生たちの学習スタイルもすっかりテスト勉強モードになり、そのため日々あわただしさを増している。

先日、金沢工業大学から6名の先生が本学の学習支援室の視察に見えられた。本来ならば、システムや支援体制が充実している先方へこちらから視察に行かなければならないところだが、わざわざ足を運んでいただき、貴重な情報交換をすることができた。先方が本学に関心を示された理由は2点あり、利用の対象(本学では工学部)となる学生数は本学が約3分の1、専属のスタッフは約5分の1という規模でありながら、年間の利用者数はほぼ同数であること。マンツーマンの学習相談を実施されている先方からすれば、どのような対応をしているか疑問に感じられたようである。もう一点は、本学のセンターを利用する学生はグループでの学習が主流となり、学生間で教えあうというスタイルが定着している。今年度の夏、名古屋で開催された工学教育学会で、本学の発表者が講演後に先方の先生と情報交換されたときに、大学院生などのTAが学部生の指導に当たっていると先方は誤解され、どのようなスタイルで学習指導がなされているかに関心を持たれ、今回の視察に至ったようである。

情報交換のあとに本学の学習支援室を現地視察されたが、学生たちが生き生きと楽しく勉強している姿と活気のある支援室の雰囲気はたいそう感心された。本学のセンターでは以前からのスタッフ不足が、利用する学生の間で教えあうというスタイルをいつしか作り上げ、それが1つのカラーとなっている。自ら学び、自ら伸びていくという以前のような学習スタイルは、現在のゆとり世代の学生たちには歓迎されず、本学の支援室で行われている、共に学び、共に伸びていくという学習スタイルがこれからの大学教育にフィットしていくのかもしれない。

2. 利用状況[1月7日~31日]

総利用者数 1469人 [2008年度 1548人, 2007年度 1142人]  
86.4人/日 [学習相談 1246人(17日), 補習授業 223人(15日)]

1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	446人	943人	876人
2年生	597人	548人	147人
3年生	403人	47人	102人
4年生	19人	10人	16人
その他	4人	0人	1人

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
数 学	470人	658人	597人
物 理	76人	269人	166人
英 語	12人	41人	31人
情 報	1人	3人	9人
化学・生物	4人	577人	339人
専門・一般	242人		
自 習	603人		
その他	61人		

[※その他 留学生・留年生・大学院生の利用]

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

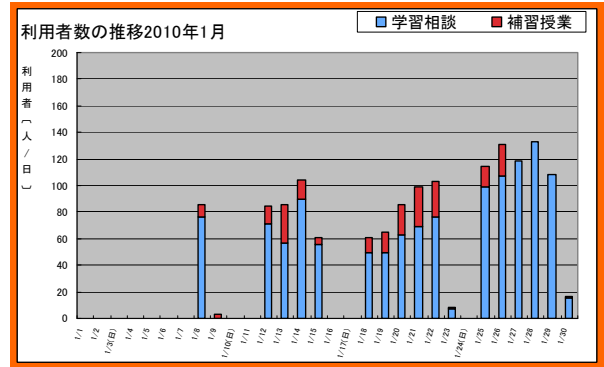
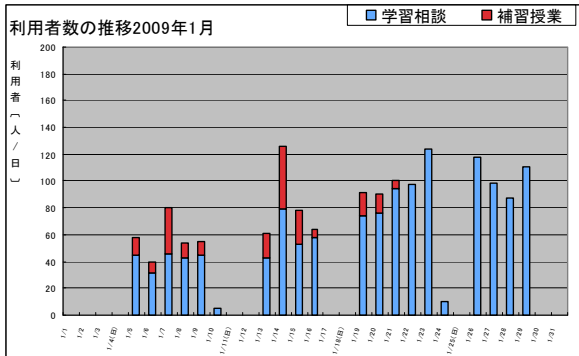
学部	年度	2009					合計	2008	2007
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上			
工 学 部	C科	51人	30人	56人	0人	1人	138人	147人	188人
	A科	74人	175人	19人	0人	0人	268人	296人	165人
	E科	157人	173人	308人	13人	2人	653人	694人	419人
	M科	96人	162人	3人	0人	0人	261人	236人	235人
	B科	58人	57人	14人	6人	0人	135人	168人	114人
経営情報学部		4人	0人	0人	0人	0人	14人	7人	21人
法 学 部		0人	0人	1人	0人	0人			
外国語学部		0人	0人	2人	0人	0人			
薬 学 部		0人	0人	0人	0人	0人			
大 学 院		3人		留学生別科	4人				

1月の利用状況を学部・学科別に示した。月別の利用者数は今年度に関してはどの月も前年度を上回っていたが、今月は前年度を下回った。これは前年度が冬期休暇明けの授業開始日と期末試験の日程が早く、今年度(17日開室)は前年度(20日開室)よりも開室日数が少なくなっていることによるものと思われる。今年度は、微積分Iの学習相談が少ないように感じていたが、今月に限らず1年次生の利用自体が半減している。科目別利用者数のその他の人数は、SPIや公務員試験対策の相談で、4年次生では卒研(ゼミ)関係の相談が今月は多かった。文系学部での利用は次の通り。

[J3-SPI, S1, L3-数学, 別科 レポート 等]

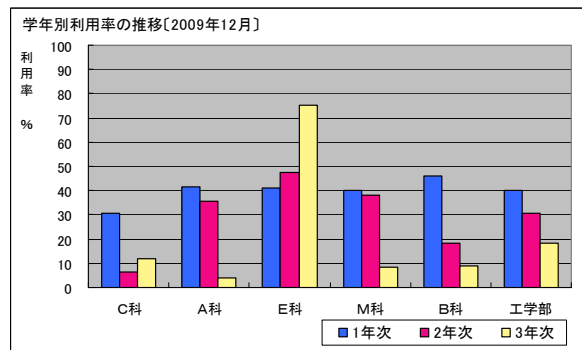
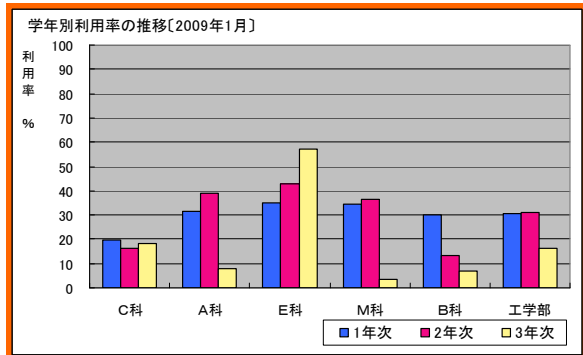
## 2) 利用者の推移

2009年度と2010年度の1月の利用者の推移を表にした。昨年度は入試の日程の影響だと思われるが、5日より19日までが通常授業、20日から特別教育期間が始まり、26日から後期期末試験が開始している。今年度と比べて1週間ほど前倒しになっていた。学生の利用の傾向は、試験前の特別教育期間から利用者が急に増える。通常授業時は授業時間ごとに利用学生も適度に入れ替わるが、特別教育期間中は長時間の利用者が多くなる。そのため、試験期間中は連日利用者でごった返した。



## 3) 学年別利用率の推移

1月の学年別の利用率を集計した。不思議なことに、後期試験の直前にもかかわらず、一部の学科を除いて全体的に利用率がさがっている。



※利用率=(在籍数に対する実利用者数の割合を百分率で示したもの)

## 3. 今月のトピックス

- \* [15日(金)] 昨年度の総利用者数である13298人を超えた。1月末現在で14,358人、今年度は15000人を超える勢いである。
- \* [19日(火)] 入学前教育通信制添削問題の第3次発送業務を行なった。対象となる学生に採点答案(C, A, R科は数学の第3回目、E科とM科は物理の第1回目)を送付した。TAの協力を得て、スムーズに業務を終えることができた。
- \* [25日(月)] 金沢工業大学から6名の先生が支援室の視察にこられた。13~16時まで双方の支援室の現状の報告をしながら意見交換ならびに情報交換を行った。その後、本学の支援室の施設ならびに学習相談のようすを現場視察され、今回の視察を終了した。